

第22期 西部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和2年10月23日から令和2年11月24日まで） 中間報告

募集人数15人に対して推薦4名、応募0名 合計4名 内漁業者等4名（推薦4名、応募0名）

受付番号	氏名	年齢	性別	職業	主な経歴	漁業者等該当	推薦した団体（カッコ内は個人の場合）				備考
							漁業の状況	団体の名称及び代表者氏名（氏名、性別）	設立の目的（職業、年齢）	推薦の理由	
01	山本 幸宏	73	男	漁業	H26.3～ 深浦漁業協同組合 代表理事組合長 H26.7～ 青森県漁業信用基金協会 理事・監事 H27.6～ 青森県漁業協同組合連合会 理事・監事 H28.5～ 西北水産振興会会長 H28.5～ 青森県小型いか釣り漁業協議会 副会長 H29.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会 委員	該当	ワカメ養殖 刺し網 籠 定置網 年間従事 150 日	深浦漁業協同組合 代表理事組合長 山本 幸宏	水産業協同組合法に基づき、共済、購買、販売、製氷、利用及び指導の各事業を行う団体。	いか釣り漁業に長年従事しており、現場に精通している。 定置網、ワカメ養殖業に熱心に取り組み、後進の指導に当たっている。 西北水産振興会の会長として、調整能力に優れている。 西部海区漁業調整委員会委員に在任中である。	
02	西崎 昭一	57	男	漁業	H27.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会 委員 HH28.4～ 新深浦町漁業協同組合 理事 H28.4～ 青森県大型定置協会 理事	該当	定置網 マグロ延縄 刺し網 年間従事 260 日	新深浦町漁業協同組合 代表理事組合長 小枝 裕幸	水産業協同組合法に基づき、漁民の協同組織の発展を促進し、経済的、社会的地位向上と水産業の生産力の増進を図るため。	約 40 年間、定置網に従事しており現場に精通している。 定置網、刺し網漁業における漁獲、魚価の向上、鮮魚の取扱い、販路拡大に熱心に取り組み、地区のリーダー的存在である。 西部海区漁業調整委員会委員の経験者である。	
03	黒滝 洋子	65	女	漁業	H29.8～ 有限会社山三黒瀧商店 代表取締役	該当	定置網 年間従事 250 日	深浦定置漁業者協議会 佐藤 公雄	漁業調整	定置漁業に長年従事し、平成 29 年以降、有限会社黒瀧漁業の代表として、現場に精通している。 真面目な兄（黒滝聡）の意思を継ぎ、不安定な定置漁業の経営を担っている姿勢は同業者からの評価は高い。 クロマグロの資源管理についても、乗組員を教育して、誠実に取り組んでいる。 次期漁協役員候補としても注目されており、その資質を十分有している。	
04	嶋元 武信	53	男	漁業	H29.3～ 深浦漁業協同組合 監事 H29.7～ 日本海機船底曳網漁業者会 会長 H29.7～ 青森・秋田沖合底曳網漁業入会協議会 会長 H29.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会 理事	該当	沖合底びき網 年間従事 130 日	青森県機船底曳網漁業者会 嶋元 武信	相互入会、操業調整	30 年近く採介藻漁業や沖合底曳網漁業に従事しており、平成 29 年からは入会や、沿岸漁業との操業調整に参加していることから、現場に精通している。 国補助事業の適用を受け、経営安定に関する成果をあげており、現在もその成果を継続している。本会の会長であり、青森・秋田沖合底曳網入会協議会の会長であり、調整能力に優れている。また、全国底曳網漁業連合の理事としてその任に当たっている。	

				R1.6～ 全国底曳網漁業連合会 理事							
--	--	--	--	------------------------	--	--	--	--	--	--	--